

令和3年1月29日

第536号

横浜市立日吉台小学校

校長 玉置 恭美

教育目標

みずから生きる

ともに生きる

日吉台の子

ひよしだい

分 散

副校長 栗原 信一

令和2年度も残すところ後二か月となりました。この一年は、新型コロナウイルス感染防止に終始した一年でした。このような中、1月11日、横浜市の成人式が横浜アリーナ、そしてパシフィコ横浜の2会場で行われたことは、記憶に新しいところです。今年度、横浜市では、約三万六千人の新成人が誕生したとのこと。会場を2つに分散、さらに区毎にそれぞれ4回に分け、それもわずか15分間ずつという異例の分散開催でした。以前、担任していた教え子たちからも年賀状で成人式を迎えますとの嬉しいお知らせが届きました。今後、成人として歩んでいく青年たちの未来が明るくなることをただただ願うばかりです。

さて、日吉台小学校では、現在、令和2年度の学校運営について、振り返りをしているところです。今年度は、児童が安全で、安心して学校生活を送ることを何よりも第一に考え、学習や生活様式の在り方を検討、実践してきました。日々のマスク着用、検温、うがい手洗いの励行、そして、消毒や適切なソーシャルディスタンスの取り方等、児童にも定着してきたことを感じます。また、学習にも市のガイドラインを基に、密を回避しながら、授業数を確保し取り組んできました。ここにきてようやく年間計画通りに授業を終える目途がつかしました。

この一年を思い返しますと昨年の4月、入学式、始業式の後、臨時休校となり6月から分散登校が始まりました。本校では、前述の分散開催の成人式と同様、コロナ禍にあって、「分散」を一つのキーワードとして持続可能な行事の在り方を検討、実施して参りました。

10月に行われた運動会は、低・中・高学年の分散開催、11月に行われた秋の授業参観は、一クラスの保護者を3つに分け、さらに三日間に分散しての開催でした。そして、同じく11月に行われた引き渡し訓練は、動線を一方通行とし、時間差をつけてのクラス毎の分散実施となりました。お陰様で保護者の皆様からのご理解とご協力をいただき、安心、安全な行事運営ができましたこと、お礼申し上げます。

この先、新型コロナウイルスの驚異はまだまだ続くと思われませんが、予測不能な状況にあって、今年度の取組は、次年度を見据えたとき、とても有意義であったと思います。児童の安心と安全を最優先に考えた、持続可能な学校運営のあり方を、今後も教職員一同、チームとなって検討、推進していきたいと考えています。

早いもので2月となります。6年生の卒業までの登校日数も30日を切りました。地域、保護者の皆様には、コロナ禍にあって、今年度も大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

二月は逃げる、三月は去ると申しますが、まもなく訪れる令和3年度に向け、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。



▲6年生が綴った力強い「将来」の文字